



学校通信

西小だより

桐生市立西小学校
令和7年度
NO.14
令和7年11月19日

6年生 “いざ鎌倉”修学旅行に行ってきました！

11月11日（火）～12日（水）に一泊二日で6年生が東京・鎌倉方面に修学旅行に行ってきました。今年のスローガンは「最高の修学旅行にしよう！！いざ鎌倉」でした。具体的な行動目標として①自分で考え行動する（自主性）、②友だちや自分の良さに気づき、友情を深める（友情）、③公共の場所でのルール・マナーやよりよい行動について学び、身に付ける（マナー・社会性）、④旅行先の歴史・文化・自然に親しみ、理解を深める（知見）の4つを掲げ、みんな立派に行動することができました。



【国会で地元選出議員の説明を聞く子どもたち】



【鎌倉大仏前でガイドさんの話を聞く子どもたち】

国会見学では、井野議員から国会の役割や議員の仕事について説明を受けました。「6年後はみなさん有権者です。政治を身近に捉えて、こんな法律ができるといいとか良くないとか考えたり、この人と考えが近いと思ったりすることは大切です。」といったお話に真剣に耳を傾けることができました。

質問コーナーでは子どもたちから「石破前総理は今に何やっているの？普段はどんな人？」「高市総理は今、国会の中にいるの？」「議員の上下関係ってどうなの？」「最近辛かったことは？」など、井野議員さんも回答に困ってしまう質問が次々飛び出し、和やかなひとときとなりました。

ランラン・タイムはじめました！



【20分休みのランラン・タイムの様子】

11月27日（木）の持久走大会に向けて、今年もランラン・タイムが始まりました。主に20分休みを使って全校児童が積極的に取り組んでいます。20分休みになると放送委員の人たちからランラン・タイムのお知らせとアップ・テンポの曲が流れ、子どもたちが校庭へ集まり、ランニングを始めます。

「自分のペースで無理なく、楽しく、続ける」がランランタイムの合い言葉です。各自が時間や周回数などの目標を決めてがんばって走ります。先生たちも無理なく、楽しく、子どもたちと一緒に走っています。

一人だとがんばれないことも仲間がいるとがんばれる！苦しいことや辛いことは尚更です。走ることが得意な人、好きな人もいれば、苦手な人もいます。それでもみんなが集まって楽しく身体を動かし、心身の成長を図ることができる西小の素敵な伝統です。

<お知らせ>

右のQRコードから西小のWebページをご覧いただけます。



西小ホームページ

西小の取組紹介⑫

がんばっている西小の子どもたちや先生方を紹介します！



芸術の秋 昼休みコンサート（5年生）♪



【素敵な合唱や合奏を披露しててくれた5年生】

11月4日（火）恒例となりました「昼休みコンサート」の第三弾が開催されました。

今回は5年生の発表でした。合唱「夢の世界」と合奏を集めた多くのお友だちや先生たちに披露してくれました。子どもたちの歌声は何度聴いても癒やされ、楽しい気持ちになるものです。また、通常であれば、音楽の授業の中で完結する合唱や合奏もみんなの前で発表するとなると、授業にもいつも以上に身が入りまし、聴いたみんなも楽しい気持ちになれます。このような素敵なか企画を考えてくれ、挑戦してくれた先生にもあらためて感謝です。

食欲の秋 ひかり2組 スポンジケーキづくり

10月27日（月）生活の時間、ひかり2組でカップケーキをつくりました。早速、校長室に作りたてのカップケーキが届いたので、おいしくいただきました。

かわいい熊さんをイメージしたチョコ味のカップケーキは甘すぎず、とてもおいしかったです。

クリスマスも近いですし、今度は、お家の人にもカップケーキをつくれて食べてほしいですね。



「ふわふわ言葉」のすすめ

まもなく「人権週間」を迎えます。この期間になると学校に限らず、さまざまな場所で人権尊重の意識を高めるための啓発活動が集中して行われます。「人権週間」は、毎年12月4日から10日までの一週間。これは、1948年12月10日に国連で「世界人権宣言」が採択されたことに由来するそうです。日本でも、1949年からこの期間を人権週間と定めて、多くの学校で「人権」について学び、人権意識を育む活動を行っています。西小も11月25日（火）の人権集会を皮切りに、各学年ごとに道徳や学活、集会、委員会活動などを通じて集中的に学びます。

早速、私も人権について調べてみました。すると、神戸地方法務局のHPにあった「100字で伝える人権メッセージコンテスト」に紹介されていた素敵なかメッセージ（下↓）に目が止まりました。

見える優しさ、見えない優しさ。

人は皆、優しいよ。

でも、それを上手に行動や言葉にできる人、できない人がいる。

その優しさを、素直に受け止められる人、できない人がいる。

簡単なはずなのに、難しいね。

とりあえず、「ありがとう」と言ってみて。いつもと違う景色が見えてくるよ。 花言葉：ありがとう

校長室から



作者（30代女性）からは、「心配してくれる人がいる。それはなんて幸せなことだろう。孤独を感じている人の気持ちに、少しでも優しい風が通りますように…。」との願いが込められているメッセージのようです。私は、相手に感謝して素直に「ありがとう」と伝えただけのはずなのに、伝えた自分がなぜか、晴れやかなよい気持ち（いつもと違う景色）になれるって素敵だなと思いました。誰も嫌な思いをしない言葉（「ふわふわ言葉」というそうです）。言われた人はもちろんですが、言った人もよい気持ちになるふわふわ言葉が、私たちのまわりに広がりますように…。